

MAEBASHI FOCUS

国際交流員 (CIR) ニュースレター

皆さん、ハウディ！

今月のニュースレターは少し遅くなってしまいましたが、実はちゃんとした理由があります。

1週間、通訳としてイタリア出張に行っていたんです！

数か月にわたる準備を経て、10月5日から9日にかけてイタリア・クーネオで開催された第5回国際ミシュラン都市ネットワーク (INMC) 会議に、政策推進課の職員や群馬日仏協会の方々とともに参加しました。



政策推進課の皆さんと私

今回が私にとって初めての海外出張だったため、「自分に務まるだろうか」とかなり緊張していました。

もちろん、前橋市で働き始めてから、翻訳や通訳の経験を積んできました。それでも、その経験を国際的な舞台で十分に活かせるのか、少し不安に感じていました。同行した同僚の皆さんも、海外に行った経験がほとんどなく、ましてやヨーロッパのような馴染みのない場所に行くということで、同じように緊張していました。

しかし、そんな不安はすぐにどこかへ消えていきました。

13時間のフライトに加え、ドイツでの乗り継ぎでは、あと数分遅れていたら飛行機に乗り遅れていたというハプニングもありましたが、無事にイタリアに到着できました。

空港ではINMCの関係者の方々が出迎えてくださり、クーネオまで親切に案内してくださいました。そして、この温かいおもてなしは、今回の出張を通して何度も感じることになりました。出会ったほとんどの方が、私たちを温かく迎え入れ、親切に接してくださいました。

今回の会議では、持続可能なエネルギー、食料、そして水に関する知識や取り組みを共有するとともに、都市や企業がどのように連携し、知識や経験を共有し、それぞれの地域で活かしていけるかについて意見交換が行われました。

1週間の滞在を通して、前橋市の代表団として多くのことを学び、世界各地から集まった方々と交流することができました。会議では、さまざまな興味深い活動にも参加しました。



クーネオの街中

りんご園を訪れて、この地域で栽培されている農作物について研究者や企業のCEOからお話を伺ったほか、

チョコレートやマロングラッセを製造している地元企業の工場を見学しました。また、栗の栽培について研究を行っている栗農園も訪れました。

こうした訪問を通して、クーネオ周辺の農業や食料、企業の取り組みについて、実際に現地を訪れながら学ぶことができました。

会議での活動に追われた1週間でしたが、その合間にはクーネオの街並みを見たり、現地の文化を楽しんだりする時間もありました。

バスでクーネオに到着すると、私たち一行はその街並みに驚きました。長い年月を経ても変わっていないように見える石造りやレンガ造りの建物が広場を囲み、その中央には一体の像が佇んでいました。別の国に来ただけではなく、100年前の世界へタイムスリップしたような気分でした。

その後の数日間は、美しいクーネオの街並みや、クーネオの位置するピエモンテ州の素晴らしい食文化も堪能しました。

会議の合間には、毎日のようにさまざまなレストランでコース料理を提供いただきましたが、どの料理も本当に美味しく、毎回「前回を超えてきた！」と思うほどでした。

しかし、今回の出張でいちばん私の印象に残ったのは、最終日です。最後の夕食は、13世紀に建てられたお城で開催されるガラディナーでした。



ガラディナー

クーネオからバスで約1時間かけて移動し、お城の麓に到着しました。ところが、突然雨が降り始め、坂道を登ってお城の入り口へ向かう間に、参加者全員がびしょ濡れになってしまいました。

しかし、雨に濡れたことも忘れてしまうほど、お城の見学とその後のディナーは最高でした。ガイドさんによると、このお城にはヨーロッパでも特に良好な状態で残っているフレスコ画の一部があり、壁や天井からも、長く興味深い歴史を感じることができました。そして、待ちに待ったディナーはビュッフェ形式。

地元産の上質なチーズや肉、そして美味しいワインなど、素晴らしい料理がずらりと並んでいました。もちろん、食べられるものは全部食べました。後悔は一切ありません。

今回の出張を通して、前橋市の代表団としてINMCについて多くのことを学び、世界各地から参加した代表団の皆さんと交流し、イタリアの美しい街並みや文化を体験することができました。そして何より、美味しいものをたくさん食べることができました！

今回の経験は、JETプログラムの国際交流員になってから経験したことの中でも、間違いなく一番印象に残るものになりました。これからも、このような貴重な経験に参加できる機会があれば嬉しいです！